

# 水島 郁子

## 高等司法研究科・教授

### 【研究】

日本労働法学会第125回大会(鹿児島大学)で報告し、その内容を学会誌に執筆・公表した。

日韓比較法セミナー2013(京都大学)と、2013 Forum on East Asia Linkage (FEAL) (建国大学(韓国))で報告を行った。

科研費基盤(C)による研究を、研究代表者として昨年度に引き続き行った。今年度は4回の研究会を開催し、報告も行った。

他大学研究者の科研費基盤(A)に連携研究者として加わり、成果の一部は、『世界の医療保障』(法律文化社、2013年)に公表した(「第2章ドイツ」を担当)。

厚生労働科研の最終報告書を執筆した(「ドイツの産業精神保健法制度」を担当)。

### 【教育】

学部ゼミから法学研究科博士前期課程に進学した学生1名の指導を行った。

博士後期課程2名の学生の指導を行った。うち1名は日本社会保障法学会第64回大会(首都大学東京)での個別報告、阪大法学における論文公表および判例評釈公表を行った。もう1名も、前年度に引き続き判例評釈を公表した。

国立中正大学(台湾)から、周助理教授を外国人研究員として招き、同助理教授と共同で「総合演習(日台労働法)」を開講した。短期交換留学生として平成25年度には同大学の学生4名が本学に在籍していたが、うち3名の学生の指導教員を務めた。

法学研究科の地方自治演習(マッセOSAKAとの共同授業)、共通教育のオムニバス講義(現代の差別を考えるー女性学・男性学)に協力した。

### 【管理運営】

5つの全学委員会に関わったが、いずれも責任のある職務ではない。

部局内では、高等司法研究科アドミッション委員、法・高司資料室員を務めている。

### 【社会貢献】

日本労働法学会の監事・前企画委員として学会運営に携わり、第125回大会のミニシンポジウム「メンタルヘルスと法」を担当し、報告を行った。また、第127回大会の開催校を担当することになった。

日本社会保障法学会の理事・企画委員として学会運営に携わり、第65回大会の開催校を担当することになった。

平成25年度より新たに、労働政策審議会安全衛生分科会臨時委員、大阪地方労働審議会委員、大阪最低賃金審議会委員に就任した。

大阪紛争調整委員会委員として8件の紛争調整(あっせん)を行い、うち7件で合意した。